This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

03-037625

(43) Date of publication of application: 19.02.1991

(51)Int.CI.

G02F 1/1333 G02F 1/1343

(21)Application number : 01-173782

(71)Applicant: SHARP CORP

(22)Date of filing:

04.07.1989

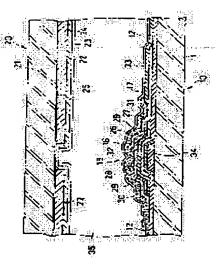
(72)Inventor: MIZUSHIMA SHIGEMITSU

(54) ACTIVE MATRIX DISPLAY DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent image quality from deteriorating even if the orientation of liquid crystal is disordered by forming a light shield film overlapping with at least part of the outer peripheral part of a picture element electrode.

CONSTITUTION: The source electrode 30 and drain electrode 31 of a TFT 15 are formed at the same time with a source bus line 13 and the picture element electrode 12 is connected to the drain electrode 31. Further, the light shield film 33 which shields an area where liquid crystal orientation is disordered from light is formed in contact with the drain electrode 31. Part of the picture element 12 formed on a gate insulating film 27 is superposed on the light shield film 33 and a protection film 16 is patterned and formed in an area other than the area where the picture element electrode 12 is formed. Consequently, even if the liquid crystal orientation is disordered, the image quality does not deteriorate, so the yield of the display device is improved and the cost is reducible.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

⑲ 日本国特許庁(JP)

四 特 許 出 願 公 閉

◎ 公開特許公報(A) 平3-37625

Dint. Cl. 3

識別記号

庁内整理番号

每公開 平成3年(1991)2月19日

G 02 F 1/1333 1/1343 500

7610-2H 7610-2H

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全5頁)

②発明の名称

アクテイブマトリクス表示装置

②特 願 平1-173782

@出 願 平1(1989)7月4日

⑫発 明 者 水 嶋

笠 光

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャーブ株式会社

内

⑪出 顋 人 シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長地町22番22号

四代 理 人 弁理士 山本 秀策

明 細 春

1. 発明の名称

アクティブマトリクス表示装置

2. 特許請求の範囲

1. 少なくとも一方が透光性を有する一対の基板と、 該一対の基板の何れか一方の基板内面にマトリクス状に配された絵素電極と、 該一対の基板間に対人され、印加電圧に応答して光学的特性が変調される表示媒体と、 を有するアクティブマトリクス表示装置であって、

接給素電医の外周部の少なくとも一部に重要して、 遮光線が形成されているアクティブマトリクス 変示 装置。

2. 前記絵衆電極が形成された基板内面に、機能条子を領え、前記遮光腹が、接機能素子内に形成された不透明層と同じ材料で形成されている、 請求項1に記載のアクティブマトリクス表示装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、表示媒体として液晶等を用いた、ア

クティブマトリクス表示装置に関する。

(従来の技術)

近年、CRTに代わる表示装置として、液晶等を用いた表示装置の研究が行われている。 これらの表示装置に於いては、ITO、SnOュ等を用いた絵彙電便と対向電極との間に、液晶等の表示媒体が封入され、これらの電極の間に電圧が印加されて表示が行われる。

61.

解はトランクスタ(以下では「TFT」といます。 というのスイッチング素子を育するアクティック カリクス型の表示装置では、上記の理気の配気に加え、 検索電極12の周囲に配送されるのでした。 は大き は を は を は を は を は と の 間に 生 じる 電位 歴 に よ な で と な は な と の は は 生 ずる。 このような 延 と の は の れ に よって、 バスラインと た 没 電 極 を の の れ に よって、 バスライン と に は 検索 電 極 の の で 記 れ が 生 じ、 更 に は 検索 電 極 の が ある。

この区间の乱れは、無電界時に於ける液晶分子と電極表面との角度(ブレチルト角)に関係し、また、電界印加時の液晶分子と電極表面との角度(チルト角)にも関係する。 従って、 液晶の配向の乱れが生じる場所、及び程度は、 ラビング、 科の蒸者等の配向処理により異なる。

液品配向の乱れが生じると、表示されている絵 衆の一部が、他の部分とは異なった表示状態となる。例えば、正方形の絵素電価を有するTN-F

下のような問題点を有している。

まず①では、自由なパターン表示が制限される という欠点が生じる。また、高精細な表示を行う マトリクス表示装置に於いては、①の対策では防 ぎようがない。

②によれば、選圧 - 透過事特性曲級の急峻性が 損なわれる。そのため、コントラスト及び応答選 度が低下し、現角範囲が狭小となる。また、高ブ レチルト角を得るためには、材料及びプロセスに 対する制約が大きく、他の特性の犠牲を招く場合 がある。

③によれば、以下のような欠点が問題となる。まず、ブラックマスクを絵素電極形成基板側に設ける場合を考える。ブラックマスクを金瓜で形成すると、ブラックマスクとパスラインとの間に、大きな電気容量が生じる。そのため、表示状態に、問題が生じ、絵素電極を認動する上でも問題となる。ブラックマスクを出版で形成すると、遮光性を確保するために設厚を大きくする必要があり、パターン程度、セルのギャップの均一性等に問題

E M・L C D では、絵葉の辺の近傍領域の最適視角方同が、他の領域のそれとは逆になり、絵葉の一部が欠損したように見える場合がある。 このような場合の配向の乱れを、リバースチルトと呼ぶことがある。

TFTを用いたアクティブマトリクス表示袋履では、液晶配向の乱れは表示状態の変化時、即ち 絵葉環極に印加される電圧が低い状態から高い状態に変化する時に生じ思い。また、この乱れの発 生は、特に電源投入時に著しい。このような表示 の乱れは、幾像として現れる。

上述の問題点を解決するため、従来より下記の 対策がとられてきた。

① 給 素 越 怪 の 鋭 角 の 部 分 を 無 く し 、 鈍 角 と す る。 ② プ レ チ ル ト 角 を 大 き く す る。

②絵業部分以外の部分を通過する光を遮断するためのブラックマスクを、絵葉の内部にも重ねて、異常部分を関す。

(発明が解決しようとする課題)

しかし、このような従来の対策は、それぞれ以

が生じる。従って、ブラックマスクを絵素電極が 形成される基板側に設けることは好ましくない。

次に、ブラックマスクを対向接板側に設けた場合を考える。この場合には、2枚の延板の位置ずれの誤差を考慮したパターン設計が必要となる。 2枚の基板の合わせる場合の位置特度は、5~1 0μmと低い。そのため、必要なブラックマスク と絵業電極との質なりを5μmとすると、10μ m以上の異な合わせの設計が必要となる。このように大きな異ね合わせを行うと、絵素の開か生じる。

本発明はこのような問題点を解決するものであ り、本発明の目的は、液晶配向の乱れを生じても、 國像品位が低下しないアクティブマトリクス要示 装置を提供することである。

(邶超を解決するための手段)

本発明のアクティブマトリクス表示装置は、少なくとも一方が選先性を有する一対の基板と、該一対の基板の何れか一方の基板内面にマトリクス状に配された絵素電極と、該一対の基板関に封入



-208 -

され、印加電圧に応答して光学的特性が変調される表示媒体と、を有するアクティブマトリクス要示装置であって、 成絵楽電極の外周部の少なくとも一部に重要して、 遮光膜が形成されており、 そのことによって上記目的が速成される。

また、前記絵素電極が形成された基板内面に、 機能業子を備え、前記遮光膜が、 複機能素子内に 形成された不透明層と同じ材料で形成された構成 とすることもできる。 機能業子としては、 TFT、 MIM(金属一絶縁層 - 金属)、 MOSトランジ スタ、ダイオード、 バリスタ夢が挙げられる。 (作用)

本発明のアクティブマトリクス表示装置では、 被品配向の乱れが発生する給素電極の外周部の、 少なくとも一部に重要して、 遮光膜が形成されて いる。 この遅光数により、 表示の乱れが生じた領域を隠すことができる。

また、本発明の表示装置では、絵衆電極が形成 された装板内面に機能索子を備え、遮光膜をこの 機能素子内に形成された不透明層と同じ材料で形 成した構成としてもよい。 このような構成により、 表示装置の製造工程を増加させることなく、 上記 の遮光顔を形成することができる。

(実施例)

本発明を実施例について以下に説明する。 第1 図に本発明の表示装置を構成するアクティブマトリクス 基板の一実結例の平面図を示す。 第1 図の田一田線に沿った断面図を第3 図に示す。 透明基板上にTaから成るゲートバスライン14 に直交して、で1から成るソースバスライン13 が設けられている。 ゲートバスライン14 と、ソースバスライン13 との交点近傍のゲートバスライン14上には、スィッチング素子としてTFT15 が形成されている。

TFT15のソース電極30及びドレイン電極31は、ソースパスライン13と同時に形成される。ドレイン電極31には検索電極12が接続されている。更に、ドレイン電極31に接して、液晶配向の乱れが発生した領域の選光を行うための、

避光膜 3 3 が形成されている。

TFTIS及び退光膜33の断面構成を、第3回に従って説明する。ゲートに34上に、陽極酸化型26が形成されたゲート電極を破化膜26を取って全面に、ゲート絶縁を破化です。スカーとのでは、カウーン形成は、アーンが成立れて、アーンが成立れて、アーンが成立れて、アーンが成立れて、アーンが成立れて、アーンが成立れて、アーンが成立れて、アーンがはないる。 絶疑びびというでは、カウーン形成がいる。 絶疑びびというでは、カウーン形成がいる。 地球びびというでは、アーン形成がいる。 地球びびというでは、アーン形成がいる。 地球びびとなるをはないのに役けられて、ロックトをとるために投げられる。 では、コンクトをとるために投げられる。 では、はほどのコンクトをとるために対けられる。

コンタクト暦29上には、上述のソース電極3 0及びドレイン電極31が形成されている。ドレイン電極31の形成時に、前述の遮光膜33が同 時にパターン形成される。本実施例では遮光膜3 3は、ドレイン電極31に電気的に接続された状 態で形成される。 遮光膜 3 3 上には、ゲート絶縁 膜 2 7 上に形成された絵素 電極 1 2 の一部が重叠 されている。

配向膜 [7 及び 2 4 にはポリイミド系樹脂(日本合成ゴム社製、オプトマーAL)、液晶 3 5 には P C ド系ブレンド液晶(チャ素(株)製)を用いた。

第2図に、本実施例の表示技能に於て、 液晶配 向の乱れが生じている領域を示す。 この場合の最

符開平3-37625(4)

連視角方向は、抵面から抵面の手前上方に向かう方向である。 東2図に示すように、 絵業電篷12のTFT15が接続される辺に沿った、 斜線で示す領域 A に、 液晶配向の乱れが生じていることが 確認されている。 この配向の乱れが発生する領域 は、 連光膜 3 3 を育していない表示装置を作製することにより、 確認することができる。 延光 裏 3 3 は、 適常、 検索 電腦12の端部から2~10 μ の 類域に形成される。 本実施 例のように 選光 限 3 3 を設けることにより、 表示不良の 問題のない 良 好 な 表示 変 配が得られることが 確認された。

第4図~第6図に、本発明の表示装置に用いられる過光膜33の他の形状を示す。第4図~第5図に於ける最適視角方向は、第2図と同様に抵面から抵面の手前上方に向かう方向である。これらの過光限33の形状は、液晶配向の乱れが発生している領域の形状に合わせて決定される。

本実施例では遮光膜33をソース電極30及びドレイン電極31と同じ材料で形成したが、ゲート電極と同じ材料で形成してもよい。 その場合に

は、 遮光膜 3 3 はゲート電揺 3 4 及びゲートバス ライン 1 4 と同時に形成され、ゲート電揺 3 4 及 びゲートパスライン 1 4 からは電気的に孤立して 設けられるのが好ましい。

本実施例ではスイッチング素子として、TFTを用いた場合について説明したが、本発明は、他のスイッチング素子、例えばMOSトランジスタを用いた表示装置にも適用することができる。

また、本実施例では機能素子としてスイッチング素子を用いた場合について説明したが、スイッチング素子以外の他の機能素子、 例えば M I M、ダイオード等を備えた表示装置にも適用することができる。 この場合には、スイッチング素子以外の機能素子を構成する不透明歴と同じ材料を用いて、遅兆膜を形成することができる。

(発明の効果)

本発明のアクティブマトリクス表示装置では、 液晶配向の乱れが生じても、 画像品位が低下しない。 従って、本発明によれば表示装置の歩復りが 向上し、表示装置のコスト低減が為される。

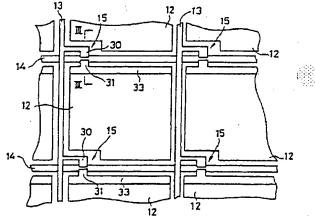
4. 図面の簡単な説明

第1 図は本発明の表示装置に用いられるアクティブマトリクス基板の一実施例の平面図、第2 図は液晶配向の乱れが生じている領域を示す図、第3 図は第1 図のローロ線に沿った断面図、第4 図~第6 図は遮光線の他の実施例を示す平面図、第7 図は単純マトリクス型表示装置に生じる電気力線の様子を示す断面図である。

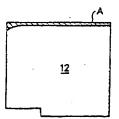
10…アクティブマトリクス基板、11,21 …透明基板、12…絵素電極、13…ソーズバス ライン、14…ゲートバスライン、15…TFT、 15…保護膜、17,24…配向膜、20…対向 基板、22…カラーフィルタ、23…対向電極、 25…ブラックマスク、26…陽極酸化膜、27 …ゲート絶縁膜、28…半導体層、29…コンタ クト層、30…ソース電極、31ドレイン電極、 32…絶縁膜、33…遮光膜、34…ゲート電極、 35…液晶。

以上





第 2 図



第 5 図